

IV. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会の記録

平成23年度 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会について

1 目的

愛知県埋蔵文化財センターの発掘調査により出土した資料を広く公開し、また、学術経験者による講演会を開催することによって、県民の埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土に残された先人の歴史を考え、文化財保護意識の向上を図る。

2 主催

愛知県教育委員会

豊田市教育委員会

(公益) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター



平成23年度 愛知県埋蔵文化財センター埋蔵文化財展・新出土品展

ケヤキが語る二千年

「弥生・古墳時代の木の文化」

「埋蔵文化財講座」

2月12日(日) 午後2時～午後4時
「木の道具の効果を調べる」
講師：山田久先生(首都大学東京教授)

「お問合わせ先」
(公) 愛知県埋蔵文化財センター
(有) 愛知県教育・スポーツ振興財団

主催：愛知県教育委員会 豊田市教育委員会 (公益) 愛知県教育・スポーツ振興財団 主幹：愛知県埋蔵文化財センター

平成23年度 豊田市郷土資料館企画展

ケヤキが語る二千年

「弥生・古墳時代の木の文化」

平成24年1月28日(土)～3月4日(日)

豊田市郷土資料館
第1展示室・第2展示室
入場無料
開館時間：午前9時から午後5時
(毎月第1日は休館)

交通アクセス

主催：愛知県教育委員会 豊田市教育委員会 (公益) 愛知県教育・スポーツ振興財団 主幹：愛知県埋蔵文化財センター

チラシ(表)

チラシ(裏)

3 埋蔵文化財展

- 1) 会場：豊田市郷土資料館
第1展示室・第2展示室
- 2) 会期：平成24年1月28日(土)
～3月4日(日)
- 3) 展覧会名：「ケヤキが語る2000年
―弥生・古墳時代の木の文化―」
- 4) 展示構成



<< A ケヤキが語る2000年 >>

- 第1章 森と人とのかわり
：現生の樹種丸太11種ほか
- 第2章 弥生の匠たち
：あま市阿弥陀寺遺跡、春日井市松河戸遺跡・勝川遺跡、豊田市川原遺跡・水入遺跡、
安城市下懸遺跡・惣作遺跡など
- 第3章 地域開発と米づくり
：春日井市松河戸遺跡・勝川遺跡、一宮市八王子遺跡、名古屋市志賀公園遺跡、
豊田市神明遺跡・川原遺跡・寺部遺跡など
- 第4章 衣食住の木製品
：春日井市松河戸遺跡、一宮市八王子遺跡、安城市上橋下遺跡・下懸遺跡・惣作遺跡
・姫下遺跡
- 第5章 ハレの日の木製品
：清須市朝日遺跡、一宮市八王子遺跡・大毛沖遺跡、豊田市本川遺跡、安城市下懸遺跡など
- 第6章 これ何だろう？
：一宮市八王子遺跡、安城市下懸遺跡・姫下遺跡
- 第7章 未来に残す：写真パネル



<< B 埋蔵文化財新出土品展 >>

安城市五反田遺跡(弥生土器・玉類)
 新城市石座神社遺跡(破鏡・弥生土器・土製品)
 岡崎市車塚遺跡(須恵器・玉類)
 豊橋市キジ山古墳群・晴雲寺址
 (須恵器・瓦・近世陶器)
 稲沢市鎌倉街道周辺遺跡
 (石塔・中世陶磁器・土師器)
 新城市中山砦跡(鉄鏃)
 清須市清洲城下町遺跡(戦国陶器・地震痕)
 岡崎市西牧野遺跡(旧石器・礫群)

<パネル展示のみ>

稲沢市塔の越遺跡
 一宮市伝法寺野田遺跡
 大府市別岨古窯群
 東浦町八巻古窯群
 瀬戸市上品野E窯跡
 豊橋市東屋敷遺跡
 新城市欠下城跡
 設楽町川向東貝津遺跡



遺跡解説 リーフレット



4 埋蔵文化財講演会

- 1) 会場：豊田市崇化館交流館 2階大会議室
- 2) 日時：2月12日(日) 午後2時～4時
- 3) 講師：山田昌久氏(首都大学東京教授)
- 4) 演題：「木の道具の効果調べる」



埋蔵文化財講演会

5 関連事業

- 1) 埋蔵文化財講座(豊田市郷土資料館)

日時：各回ともに午後2時～3時

第1回：1月29日(日)

樋上 昇

(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
「農工具の変遷」

第2回：2月5日(日)

「最近の発掘調査の成果よりー弥生・古墳ー」

永井邦仁

(愛知県埋蔵文化財センター調査研究主任)

「キジ山古墳群・青雲寺址」

早野浩二

(愛知県埋蔵文化財センター調査研究主任)

「石座神社遺跡」

池本正明

(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)

「車塚遺跡」

第3回：2月19日(日)

樋上 昇「ハレの木製品」



埋蔵文化財講座

第4回：2月26日(日)

「最近の発掘調査の成果よりー豊田市内ー」

高橋健太郎(豊田市教育委員会)

「寺部遺跡」

杉浦裕幸(豊田市教育委員会)

「矢作川河床埋没林」

第5回：3月4日(日) 樋上 昇

「木製品からみた尾張・三河の古植生」





展示解説 (部分)

平成 23 年度 埋蔵文化財展 ワークショップ

本川遺跡の 鳥形をつくって飾ろう！

鳥形木製品は、川やお墓をめぐる溝から見つかることが多いようです。そこで、民俗例や文献等との研究から、農業に関するお祭りや死者を弔うためのお祭り、集落を守るためのお祭りに使われたのではないかと考えられています。

弥生時代や古墳時代の土器には、鳥の格好をした人の絵が描かれることがあります。またヤマトタケルノミコトの「白鳥伝説」のように、鳥が魂を運んだとされています。

天空を自由に飛ぶ鳥に、昔の人々は何かの「力」を感じていたのでしょうか。



ステップ 1 鳥形をつくらう！ ★本当は木で作りたいのですが、ちょっと大変なので、紙にしました。切り離した型紙を、番号順に貼付けていってください。
できあがったら、お腹の内側の左右に発泡スチロールをつけましょう。

ステップ 2 モヨウをつけよう！

道徳からみつけた鳥形には、色もツバサもついていませんでした。
どんな色や模様があったのか、想像して書いてください。



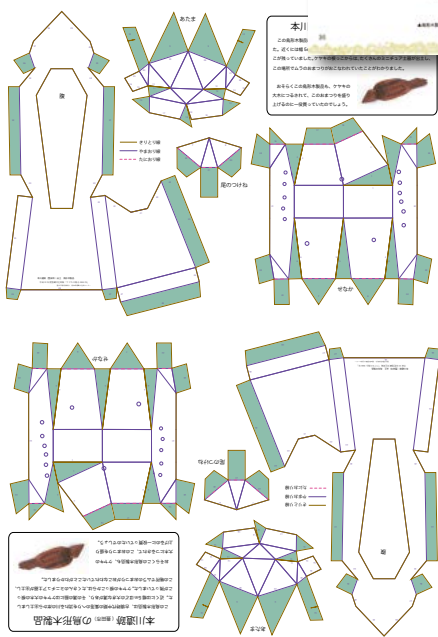
ステップ 3 ハネをつけよう！

鳥形には、いくつかの穴があります。背中の3つの穴は、お腹まで通っています。脇の穴は、貫通していません。何かを差し込んでいたようです。
さあ！この穴に、あなたなら、ナニを入れますか？鳥を飾ってみましょう！



ステップ 4 飾りましょう！

できた鳥形を展示期間中、会場に飾っておませんか？
会場に飾ってくれた方には、「ケヤじい」缶バッジを差し上げます！



ワークショップ 「とりがた」ペーパークラフト

2) ワークショップ

日時：午前10時～正午、午後1時～3時

第1回：1月28日(土)

「本川遺跡の鳥形をつくって飾ろう！」

講師：愛知県埋蔵文化財センター職員

第2回：2月4日(土)

「顕微鏡で木の組織を見てみよう！」

講師：植田弥生氏

第3回：2月11日(土) 午前

「木を割ってみよう、削ってみよう！」

講師：山田昌久氏(首都大学東京教授)

第4回：2月11日(土) 午後

「弓の発射実験！スピードガン競争！」

講師：山田昌久氏

第5回：2月18日(土)

「原始機で布を織ってみよう！」

講師：久保禎子氏(一宮市博物館)

第6回：2月25日(土)

「木のクワで土を掘ってみよう！」

講師：愛知県埋蔵文化財センター職員



「実験って、途中も面白いね」



「木の組織って？」



「ね、思ったより、いい道具でしょ」



弓の発射実験、だけど…



あんぎんの講習



あらら～、でも大丈夫。



あなた、いい手つきね



縄文時代と弥生時代？



ときには職人のように



ワークショップ第5回

「原始機で布を織ってみよう！」

会場では、それぞれ縄文時代、弥生時代以来の技術と考えられる「あんぎん」と「やよい機^{はた}」の2種類の方法について体験してもらいました。